

ドリームズ21st事業所自己評価表

事業所名 松原校

公表日

集計結果

対象者数 8名

回答者数 6名

回収率 75.0%

区分	チェック項目	はい	いいえ	改善方法・目標	工夫している点
環境・体制整備	お子様の活動のためのスペースが十分に確保されているか	○		1階のスペースを、活動できる場所として生かす。	1階、2階を活動の内容に応じて使い分けしている。
	職員の人数は、お子様の人数に対して適切か		○	活動スペースを確保するため、必要な時は、物を移動させる。	効率的な送迎に心掛けている。
	教室内はすべてのお子様を想定し、バリアフリー化などの配慮や十分な安全対策がなされているか	○		柱などの角にぶつかる危険なので、危険な箇所にはスポンジを貼る。	教室に入る際階段なので、職員が必ず付き添っている。
	事業所内は常に衛生的・清潔な状態が保たれているか	○		トイレ掃除道具を増やす。	トイレを汚さない指導をする。
適切な支援の提供	お子様と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画が作成されているか	○			
	お子様の活動が固定化しないようプログラムが工夫されているか	○		もっと体を動かしたいという要望があるため、運動プログラムを増やすことを検討する。	活動への意欲が持続するよう、一週間ごとに重点的な活動目標を設定し、周知している。
	お子様の活動意欲が高まるような創意工夫が行われているか	○			作業過程では「基本コース」と「自由コース」に分けるようにしている。
	お子様個々に対して学習支援などが細かく行われているか	○		個別スペースを設ける。	個々に合わせてプリントを作成している。
	お子様の状況に応じた個別活動や集団活動が行われているか	○			
	お子様の状況に応じて、学校などの関係機関と連携し、総合的な支援が行われているか	○			担任の先生や訪問支援の先生と情報共有をしている。
保護者への説明等	支援の内容や利用者負担などについて丁寧な説明がなされているか	○			
	保護者様との意思の疎通や情報伝達のための手段であるHUGについて、十分な説明がなされているか。	○			
	HUGなどを通じ、日頃からお子様の状況を保護者様と伝え合い、支援の状況・課題について共通理解ができていますか	○			
	保護者様からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、定期的に個人面談会を開催するなど必要な助言と支援が行われているか	○			メール・電話で相談があったときは面談するようにしている。
	お子様やその保護者様からの苦情の対応体制を整備し、それを保護者様に周知・説明を行い、苦情があった場合は円滑に対応しているか	○			
	HUGやホームページなどで、活動概要や行事予定などが、お子様や保護者様に対して定期的にまたは必要に応じて発信されているか	○			
	個人情報に細心の注意が払われているか	○			
非常時の対応	緊急時対応マニュアル・感染症対応マニュアルを策定し、保護者様に周知・説明されているか	○		保護者への周知については、HP上でも丁寧に説明していく必要がある。	
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	○		積雪時に対応するため、送迎車を雪用タイヤに変更する。	
満足度	お子様は通所を楽しみにしているか	○			
	事業所の支援に満足しているか	○			
合 計		20	1		